



箕輪進修高校 進路指導室

2011. 12. 12

No. 69

聞くは一時の恥知らぬは一生の恥



私達は世の中に出ると自分の知らないことがたくさんあります。皆さんが会社に入れば当然知らないことばかりです。知らないことはきちんと聞くことが大切です。知らないのにしっかり聞かず勝手なことをやり会社の機械を壊したり、不良品を出したら大変です。最初は誰でもが聞くでしょうが、忘れてしまい同じことを幾度も聞くと上司に叱られるでしょう。しかしそれを恥じ、つい聞かずに失敗をするということはありません。しかし**聞かずに失敗をするよりも、聞く恥を忍んでもきちんと聞き、きちんとした仕事をする方が良いに決まっています。**

また最初は誰もが知らないことが多いのは当然ですし、失敗をするものです。失敗を恐れたり、聞くことを恥ずかしく思わずに、最初は人に聞くことを心がけて欲しいものです。ただし同じことを何度も聞き返さないように出来るだけ**一度聞いたことは自分でマスターするよう心がけること**は大切です。



メモをとる

社会に出た時「メモをとる」ということを心がけて欲しいことです。人間の記憶力は案外心許ないものです。時間がたてば曖昧になっていきがちです。出来るだけ普段からメモをとる習慣を付けておくことが大切です。そのメモもたまたま見つけた紙の切れ端に書いておくだけではなく、出来たら日頃から**メモ専用のノート等を用意**し、それにメモることを心がけたいものです。

特に大事なことはきちんとメモをとるように習慣づけることが大切です。会社に入った時も同様です。出来るだけ1冊のノートを用意して、日々教えられたことや気がついたことをそれに書いていくと、大切なことを何回も聞くということはありません。それが出来るようになると仕事も早く覚え、周囲からも一目置かれるようになるでしょう。

企業への年賀状の書き方

就職が決まった人は企業へ年賀状を必ず出しましょう。具体的な書き方を少し解説します。

- ①提出先：原則として求人票に掲載していた人事担当者(社長でも可)。
- ②書き方：例文は進路ノートに記載してあります。あくまでも参考として、各自で考えて出しましょう。ただし友人に出すような年賀状は避けましょう。出来れば手書きとし、印刷でもかまいませんが、通り一遍の文面ではなく、多少は自分の文章で。
- ③年賀ハガキはあくまでも各自で用意すること。
- ④学校へ持ってきてチェックを受ける必要はありません。
- ⑤喪中の生徒は、本年度中に年賀欠礼として出すか、「寒中見舞い」として松の内明けの1/8頃～2/4頃に出しましょう。

